

会長メッセージ

時代と共に変革を遂げ、 社会に貢献し続ける

代表取締役会長 大越 博雄



マブチモーターの経営理念と貢献領域

当社は2024年1月18日をもちまして、創立70周年を迎えました。私たちマブチモーターは、常に挑戦と革新を続けながら、経営理念に掲げる「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実践し、小型・軽量・高効率のモーターを様々な用途に提供することで、幅広い分野で人々の暮らしの利便性、快適性及び安全性の向上に貢献してまいりました。

過去10年間では、従来の標準化戦略を進化させた用途別標準化を展開し、自動車電装機器分野における貢献を大きく拡大しました。さらに、米州のメキシコ及び欧州のポーランドに生産拠点を設立し、地産地消の推進による供給体制の強化及び製品輸送時のCO₂排出量の削減を同時に実現する世界5極事業体制を確立しています。

そして2021年からの3年間において、当社は「長期経営方針」に掲げる「全ステークホルダーへの幸せへの貢献の

継続とその拡大」を目指し、2023年を最終年度とする中期経営計画に取り組んでまいりました。そして3つのM領域（モビリティ、マシーナリー、メディカル）を新たな貢献領域として、ブラシレスモーター及びモーターを組み込んだユニット製品にも本格参入しています。また、当社のモーターは小型・軽量でエネルギー変換効率が高く、モーターを搭載するあらゆる機器の軽量化や省エネルギー化の実現が可能であり、CO₂排出量の削減においても貢献を拡大しています。

市場の変化に伴う 事業ポートフォリオの変革

現在、私たちは急速な技術の進化と市場の変化に直面しています。自動車産業をはじめとする様々な産業で、電動化や自動化の波が押し寄せています。そうした変化を見逃すことなく、積極的に取り組んでいく必要があります。そのため、当社はこれまでモーター専門メーカーとして、モーター単体の販売を中心として事業を展開してまいりましたが、

高品質なモーターをコアとしつつ、制御やユニットも含む「動き」のソリューションを提供し、新たな価値を創造する方向へと大きく舵を切ります。その「動き」のソリューションを提供する会社としてダイナミックに事業ポートフォリオを進化させることを目指し、2030年を最終年度とする7カ年の「経営計画2030」を策定しました。経営計画2030では、財務指標及び未財務指標の双方を高めることで企業価値を向上し、創立以来大切にしてきた「社会の公器として存在し貢献し続ける会社」でありたいという想いを実現すべく、取り組んでまいります。

会社の変革にあたっては、「標準化戦略」をはじめとするマブチモーターの強みを、より強固なものにすることが重要であると考えます。当社が取り組むこと、取り組まないことを取捨選択し、取り組む領域においてはお客様や社会のニーズを満たす価値を提供するために機能を絞り込み、当社の標準モーターをコアとした「動き」のソリューションの提供を目指します。当社の提供するソリューションによって、お客様は求めている価値をリーズナブルに手にすることがで

き、そうしたお客様が増えていくことによって標準品をより多く活用いただけるという「標準化戦略」の好循環を生み出し続けていきます。

事業環境は常に不透明であり、EV市場の状況や見通しがこの1年で大きく変化するなど、短期間で事業環境が変化しています。そうした変化に柔軟に対応するための開発・調達・生産・販売体制の構築も課題として認識しており、経営基盤の強化を図ってまいります。経営基盤の強化にあたっては、M&Aや外部提携などの外部リソースの活用積極的に取り組んでいくことが必要であると考えており、将来の成長を加速するために効率の高い投資を行い、社会への貢献の結果としての超過利潤を生みだし、長期安定的な株主還元を実現してまいります。

私たちマブチモーターは、挑戦と革新を続け、株主・投資家の皆様、お客様、お取引先様、地域社会の皆様とともに、新たな未来を切り拓いていきます。今後も一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。